

SEARCHED

PN - JP2000185786 A 20000704
 PD - 2000-07-04
 PR - JP10080360868 19981218; JP10080289520 19981012
 OPD - 1998-10-12
 TI - STORING CASE FOR BEVERAGE BOTTLE
 IN - UCHIGATA KENJI
 PA - UCHIGATA KENJI
 IC - B65D85/30 ; B65D6/50

SEARCHED

TI - Beverage bottle storage case used in large scale retail store, has coverage board with holes that are surrounded by perforations so that perforations are fragmented while pulling out bottle
 PR - JP10080289520 19981012
 PN - JP2000185786 A 20000704 DW200047 B65D85/30 005pp
 PA - (UCHI-1) UCHIKATA K
 IC - B65D6/50 ;B65D86/3
 AB - JP2000185786 NOVELTY - Several holes (6) are provided in the coverage board (2) made of hard board, corresponding to the neck of beverage bottle (20). Perforations are provided surrounding the holes. The coverage board is fixed to casing (1) accommodating the bottles. When the bottles are drawn out from the casing, the perforations are fragmented.
 - USE - For storing beverage bottles in commodity shelf of large scale retail stores.
 - ADVANTAGE - Since perforations surrounding the hole is fragmented during pulling out of beverage bottle, fraudulent done in beverage and bottle is prevented
 - DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the isometric view of storage case.
 - Casing 1
 - Coverage board 2
 - Holes 6
 - Beverage bottle 20
 - (Dwg.1/7)
 OPD - 1998-10-12
 AN - 2000-518582 [47]

SEARCHED

PN - JP2000185786 A 20000704
 PD - 2000-07-04
 PR - JP10080360868 19981218
 IN - UCHIGATA KENJI
 PA - UCHIGATA KENJI
 TI - STORING CASE FOR BEVERAGE BOTTLE
 AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a storing case for storing a beverage bottle in which various kinds of bottles are prevented from being present in a mixed state at the channel of distribution or selling locations and further a playing trick against the beverage or bottles is prevented.

- SOLUTION: There are provided an outer box 1, a cardboard shielding plate 2 having a plurality of round holes 6 through which a neck part 21 of each of a plurality of beverage bottles 20 stored in the outer box can be inserted, and breaking portions 4, 8 formed around each of the round holes 6 of the shielding plate. The shielding plate 2 is fixed to the outer box 1 under a state in which their neck portions are being inserted through the round holes 6 after the beverage bottles are stored in the outer box 1. When the bottles are taken out of the storing case, the breaking portions 4, 8 are broken, resulting in that it can be easily acknowledged that the bottles are extracted out of the box even if the bottles are returned back to the storing case. Since the shielding plate 2 is made of cardboard, its cost is less expensive and the taking-out operation of the bottle from the storing case can be carried out approximately in the same manner as that of the prior art.
- 865088/00 ;B65D5/00

(1)日本開特許庁 (JP)

(2)公開特許公報 (A)

(3)特許出願公開番号

特開2000-186786

(PT2000-186786A)

(4)公開日 平成12年7月4日(2000.7.4)

(5)先(CT)
36566 65/30
6/30特許記号
6/30 101P 1
B 6 L D 86/30
8/304-70-1 (参考)
C 3 E 9 6 6
1 0 1 B 3 E 9 9 6

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 6 頁)

(1)出願番号 特願平10-386678
 (2)出願日 平成10年12月18日(1998.12.18)
 (3)優先権主張番号 特願平10-286029
 (4)優先日 平成10年10月12日(1998.10.12)
 (5)優先権主張国 日本 (JP)

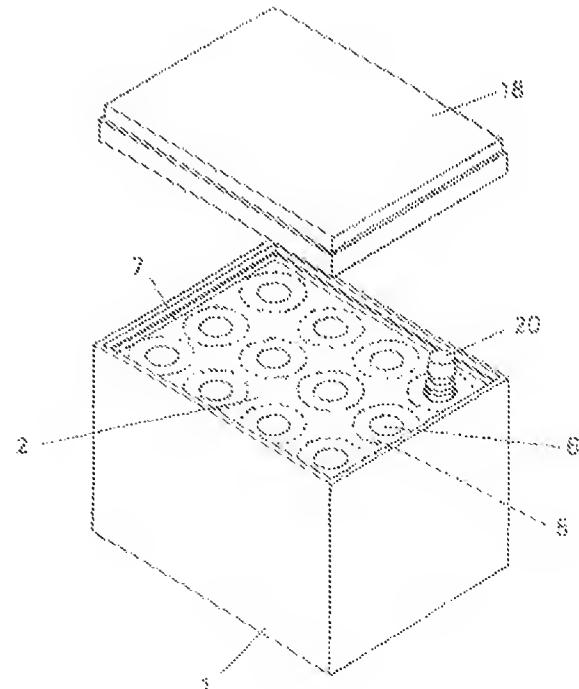
(7)出願人 内藤 錠二
石川県河北郡七尾町秋浜17-3
 (7)発明者 内藤 錠二
石川県河北郡七尾町秋浜17-3
 (7)代理人 100078673
実業士 須 孝樹
Fターム(参考) 3D000 A403 B004 C016 C012 C017
C018 C034 D016 E009 E014
3E035 A403 B023 B001 B001 B009
D020 E001X E001Y E002X
F005 F017 F040 G012

(6)発明の名称 飲料ボトルの収納ケース

(7)【要約】

【課題】 飲料ボトルを収容する収納ケースに因し、振過や振元の時点でボトルが混在したり、飲料やボトルに想がれがさむことを防止する手軽で安価な技術手段を得る。

【解決手段】 外箱1と、この外箱に収納された複数本の飲料ボトル2から首部2.1を挿通可能な孔2.2の複数個を設けた収納部の収納板2と、この収納板の各開孔2.2の周縁に形成された凹部3と、それを通じて収納部2に外箱1に飲料ボトルを収容したあとそれらの首部を内孔2.2に挿通した状態で外箱1に固定されている。収納ケースからボトルを取り出したとき、該凹部3が研削され、ボトルを差してし柄を割られたことが容易に認識できる。該収納部2は硬紙製なので、コットが低く、収納ケースからボトルの取り出しも簡素をほとんど変わらない作業で行うことができる。



【技術領域の説明】

【請求項1】外箱(1)と、この外箱に取納された飲料ボトル(2)の内部(3)を通過可能に開閉する内部扉(4)を設けた紙張製の瓶詰部(5)と、この内部扉(4)各内孔(6)の周囲に形成された瓶詰部(5)と、この内部扉(4)各内孔(6)の周囲に形成された瓶詰部(5)と、この内部扉(4)各内孔(6)に開閉された状態で外箱(1)に開閉されており、飲料ボトル(2)を引き出したときに遮蔽板(7)が瓶詰部(5)と、8)が被断されることを防ぐと、飲料ボトル(2)の取納ケース。

【発明の実施形態の説明】

【発明1】

【発明の属する技術分野】この発明は、ドモ(ホリエント・レンタ・レフタード)ボトルなどの飲料ボトルを販賣する取納ケースに関するもので、特に外箱に取納された飲料ボトル(2)の内部扉(4)各内孔(6)を通過可能に開閉する内部扉(4)を設けた紙張製の瓶詰部(5)と、この内部扉(4)各内孔(6)の周囲に形成された瓶詰部(5)と、この内部扉(4)各内孔(6)に開閉された状態で外箱(1)に開閉されており、飲料ボトル(2)を引き出したときに遮蔽板(7)が瓶詰部(5)と、8)が被断されることを防ぐと、飲料ボトル(2)の取納ケース。

【発明1】

【従来の技術】飲料は缶やボトルに封入して販売される。そのオトルの搬送や搬取を効率的に有るために、複数のボトルを取納する紙張製といし合成樹脂製の取納ケースが用いられている。コンビニエンスストアなどの小売店で飲料を商品棚に陳列するときは、複数本車両で搬入するような小走のボトルは別として、通常、取納ケースから取り出した状態で陳列され販売されている。取納ケースが紙張製であるときは、ボトルを取り出した後取納ケースは廃棄される。取納ケースが合成樹脂製であるときは、取納ケース付ボトルを回収して再利用されるのが一般的である。

【発明1】

【発明が解決しようとする課題】瓶詰部の商品棚に陳列された飲料ボトルは、誰でも取り出したり戻したりすることができます。従って商品棚に多種類の飲料ボトルが陳列されている場合には、客が取り出したり戻したりする間に、飲料の種類が混るボトルが混在するといふことが起こる。また瓶詰部の商品棚に陳列されることは、一部の多くの飲料の種類が取り替えられたり、飲料期間の過ぎた古い飲料が置かれたりするといふ事態が起こり得る。さらに瓶詰部といふと云は、購入して家へ持ち帰ったボトル内の飲料に不味い物や毒物を混入して再び瓶詰部に戻すといふ換りで悪質な悪戯がなされ得る。

【発明1】コンビニエンスストア等における現在の飲料の販売体制では、上述したような行為が故意に有するたとえ、その発見は極めて困難である。またボトル内の飲料に毒物や毒物を混入するといふ悪意の悪戯は、現在の飲料ボトルの流通体系ではその流通途中のどの時点でも有り得ることが可能であると云ふ毒物や毒物が混入された跡のあるボトルを見つけるとしてもそれを特定する

ことが極めて困難である。

【発明1】そこでこの発明は、各種の飲料ボトルのボトルが遮蔽板や瓶詰部の周囲で現在したり、ボトル内の飲料ボトル自身に想定な想がされることをより防ぐと、そのよな事態が生じたときに速やかに発見するこれが可能な、各部にカバの安価に実現できる技術手段を備ることを課題としている。

【りひり】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の飲料ボトルが取納ケースは、外箱(1)と、この外箱に取納された飲料ボトル(2)の内部扉(4)各内孔(6)を通過可能に開閉する内部扉(4)を設けた紙張製の瓶詰部(5)と、この内部扉(4)各内孔(6)の周囲に形成された瓶詰部(5)と、この内部扉(4)各内孔(6)に開閉された状態で外箱(1)に開閉されており、飲料ボトル(2)を引き出したときに遮蔽板(7)が瓶詰部(5)と、8)が被断されることを防ぐと、飲料ボトル(2)の取納ケース。

【りひり2】

【作用】飲料の種類が異なるボトルが混在したり、ボトル内の飲料に毒物や毒物が混入されたりするだけ、1本1本のボトルを自由に取り出したり戻したりすることができるためである。ところが1本1本のボトルを取り扱えない、最終段階での瓶詰部に支障が生ずる。たとえば複数本のボトルをケースに納めたまま最初消費者に販売しようとすると、少量の飲料を購入したいという客の悪意に遭ふことがあるくなる。また取納ケースにボトルを1本ずつ取り出すことができないようないカブ装置を設けると、取納ケースがカブト巣になり、ケースからボトルを取り出すときの作業も面倒になる。

【りひり3】これに対してこの発明の取納ケースは、取納ケースからボトルを取り出したとき、遮蔽板(7)の周囲に設けた瓶詰部(5)、8)が被断し、ボトルを取納ケース内に戻すことは可能であるが、遮蔽板(7)の瓶詰部(5)、8)が被断していることにより、取納されたボトルの1本1本についてボトルが直接見られることがあらかじめが容易に認識できる。

【りひり4】遮蔽板(7)を使い捨ての紙張製とするこないより、カブトを底く抑えられること、また取納ケースからボトルの取り出しも、従来の取納ケースからのボトルの取り出しと同じく変わらざり作業で済むことかかる。

【りひり5】遮蔽板(7)は、外箱が紙張製であるときは周囲部を外箱に接着し、また外箱が合成樹脂製であるときはクリップやビンによって外箱に固定するようにすれば、ボトルを外箱に取納した後、遮蔽板(7)を外箱に取り付ける作業も容易に可能であり、かつ合成樹脂製外箱の繰返し使用にも問題を生しない。

【りひり6】直ちにこの発明の取納ケースを用いることにより、流通途中あるいは販売店での瓶詰部(5)、8)から抜き取られたボトルがケース内に残されたとき、

それを簡単に判別することができる。客に注意を促すことができるとともに、たとえば流通途中において抜き出されたときには一見して遮蔽板の構造が分かるので、作業者が容易にこれを発見することができる。

【001-2】

【発明の実施の形態】以下に図面に示す実施例を参照してこの発明の実施形態を説明する。図1ないし図4はこの発明の第1実施例を示したもので、複数(ダンボール)箱の外箱に接着により遮蔽板を取り付けた構造の例を示したものである。

【001-3】外箱1は一般に用いられている構造のダンボール箱で、図1の例では外箱1内に12本のボトル2が収納されるようになっている。遮蔽板3はダンボール板3と熱接着して接着した構造で、ダンボール板3にはボトル2の断面が通過可能な開口4が設けられており、複数4に付属開口の中にも位置する部分に開孔5が設けられている。この開孔5はボトルの首部2-1が通過可能な大きさである。この遮蔽板3は開口4を越けたダンボール板3に薄紙4を貼付して、各開口4の中央部に開孔5を設けることによって製作される。遮蔽板3の四辺は上方にタフテープで曲げられており、この折曲げ部分4にあって外箱1の内側に接着される。

【001-4】遮蔽板3は外箱1とは糊接着して、外箱1にボトル2を収容した後、それから首部2-1を開孔5から通過するようにして上から被せ、接着剤または接着チップで遮蔽板3を外箱1の内側に接着する。その後外箱1の端1-1を閉める。オトル2-2はこの状態で通過し、遮蔽板3の端部には外箱1の端1-1を切り取った状態で、外箱1に収容したまま陳列される。ボトルに入った飲料を購入しようとする客が、遮蔽板3の上方に設けているボトル2の首を掴んで引き抜く。この引抜き動作により、遮蔽板3の開口4部分にある薄紙4が破れるか、そのボトル2を元に戻したとき、後からきた客が容易にそれを視認することができる。

【001-5】図3、4は遮蔽板の他の例を示したもので、この他の例の遮蔽板3は1枚のダンボール板でできており、外箱1に収容されるボトルの首部を通過する開孔5が設けられている。そして各開孔5の断面に放射状に収容されミシン目で又は切妻形が設けられている。このような構造の遮蔽板3をそのまま開孔5に直し、首部2-1を通過した状態で外箱1に取り付けると、ボトル2-2を外箱1から取り出したとき、ボトルの断面によってメンツ自ら切り離され、第1実施例と同様にボトルが抜き取られることが一目で分かる。

【001-6】図5ないし7はこの発明の吸納ケースの第2実施例を示したもので、外箱を含む構造とした場合の一例を示したものである。外箱1は従来一般に用いられている形状の合板構造の箱であるが、その上部より若干下がった部分に内側に突出する端1-1が一本に形成

されており、これらの端1-1は上下方向にスロットが複数個設けてある。この端1-1の端部は外箱1に取付されるボトル2-2の首部2-1の根元の端部に接する。遮蔽板3(図4)または図5に示したものと同様な構造のものを用いるが、その端部には第1実施例の断面部の代わりに外箱の断面部1-1のヒン孔位置に合わせてヒン孔5-3が設けられている。

【001-7】この第2実施例のものでは合板構造の外箱1にボトル2-2を取容した後、取容したボトルの首部2-1を遮蔽板3の孔5-3に挿通した状態で外箱1の内側に遮蔽板3を嵌め込み、先端に外側を向いた端部突起1-2とこの端部突起を捕捉可能にするスリotted1-3とを設けた止ゼン1-4をゼン捕道孔1-3及びゼン孔1-2を貫通するように挿通する。止ゼン1-4の捕道孔1-3を端部突起1-2との組合せ法とは、外箱の突片部の厚さと遮蔽板3の厚さとを加えた寸法になっており、止ゼン1-4を一杯に挿通すると、ゼン孔1-2を貫通したところで端部突起1-2が外側に脱落し、止ゼン1-4を取り外すことができなくなる。遮蔽板3は複数の止ゼン1-4によって外箱1の内側に固定され、この状態で必要があれば外箱1に端1-1を取り付けて流通させる。

【001-8】最初の状態においては、ボトル2-2を外箱1に取容したまま商品棚に陳列する。ボトル2-2はノックされた飲料を購入しようとする客は、ボトル2-2を外箱1から引き出して購入する。このとき遮蔽板3の破断部すなむち再結合部4やミシン目5が破断するので一角明る出したボトルを元に戻したときは後からきた客が容易にそれを視認することができる。

【001-9】外箱1のボトルが全て取り出されたら、遮蔽板3を破って取り去り、止ゼン1-4は突端部を指で指んで端部突起を捕捉させて引き抜くことができるが、外箱1をボトリングスターかに通じて廃棄は、外箱1を再利用することができる。

【001-10】遮蔽板3はボトルを引き出す毎にそのボトルに対応する首部端部の破断部が破断されるので、再利用することはできない。しかしながらこの遮蔽板3はダンボール板などの消耗可能な安価な材料によって製作されているため、費用負担は軽微である。またこの遮蔽板3は子供の手で破断部が設けられているので、児童からボトルを1本ずつ取り出すときの経常となることもない。

【遮蔽の無効化説明】

【図1】第1実施例の断面図

【図2】第1実施例の覆紙紙人断面図

【図3】遮蔽板の他の例を示す断面図

【図4】ボトルを取り出すときの遮蔽板を示す断面図

【図5】一部を切り落して示す第2実施例の断面図

【図6】図5のA部断面図

【図7】遮蔽板の捕道孔を示す断面図

【省略の説明】

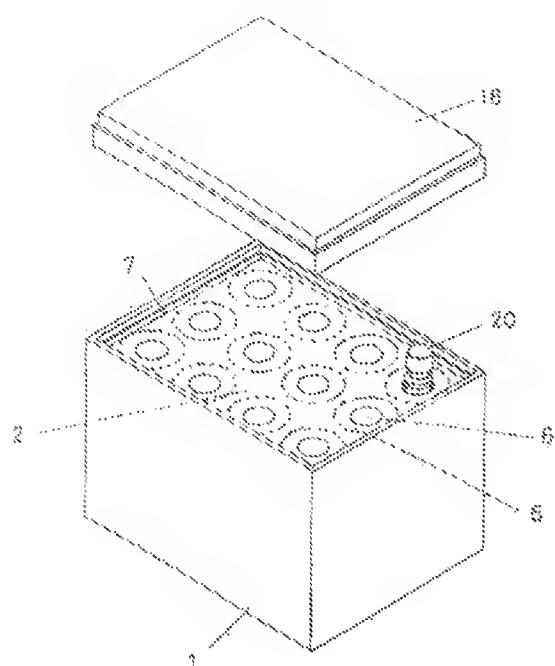
1. 外箱

1. 滑紙
2. 内紙
3. 本体

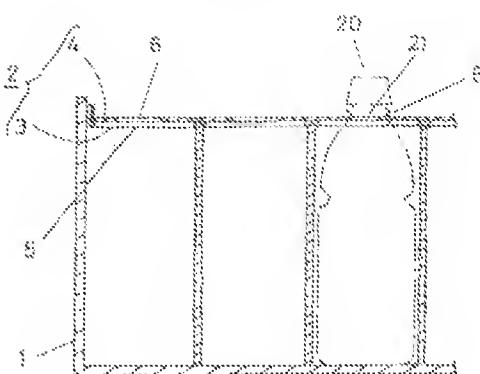
4. 布下板
5. 布上板

C

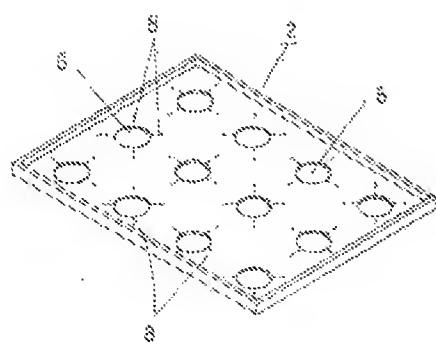
(図1)



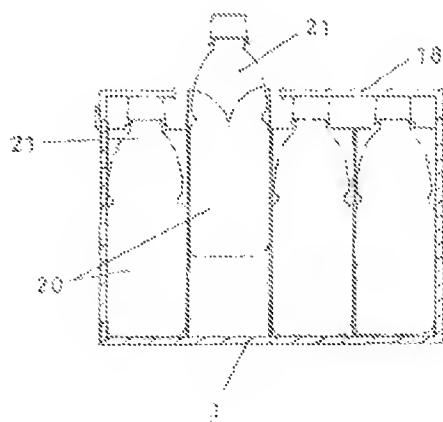
(図2)



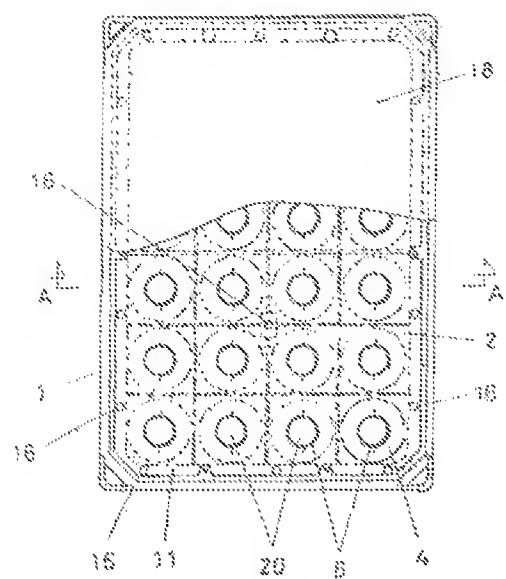
(図3)



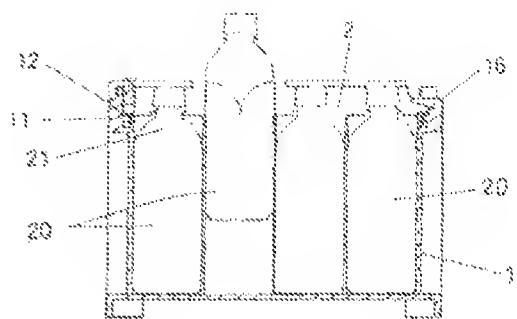
(図4)



[图6]



[图7]



[图7]

